



大阪歯科大学

# 兵庫県同窓会報

'90春

47

## も く じ

わが国歯科界の発展のため……………村井会長…	1
平成元年度第2回 役員会・分会長・支部長会・ クラス幹事会……………	2
顎関節の診断と治療……………川添教授…	6
座談会「情報伝達こそ同窓会の絆」……………	8
会員名簿正誤表……………	12



## わが国歯科界の発展のため

大阪歯科大学  
兵庫県同窓会長

村井俊郎

3月3日、母校において大阪歯科大学同窓会の定時総会が開催され、全国各地から出席した支部会長、クラス代表者及び評議員により構成されたこの総会において、平成2年4月から就任する次期会長に奥野喜一現会長（専門22回大阪府）が万場一致で選出された。

また、同時に行われた監事選出においても、津島大麓（専門20回兵庫県）、河上泰男（専門23回京都府）の両氏が再選された。

これにより、引き続き会則により新会長から委嘱される副会長、専務理事、常務理事、理事の決定によって、大阪歯科大学同窓会は新たな出発を行うことになる。

大阪歯科大学同窓会は、約1万1000名の会員を有しているが、全国の歯科医師約6万名の18%を占めていることを考えると、わが国の歯科界における勢力割合はきわめて大きい。

しかし、それだけにその果たすべき責任も重

いものがあるといえる。

本県においても、歯科医師会会員数2600名余のうち大阪歯科大学出身者が1400名余であるから、その構成比は54%であり、まことに大きな責任を課せられているわけである。

これからの長寿社会の中で、歯科医療の果たさなければならない役割りはまことに大きい。

しかし、この役割りが円滑に行われるためには医療制度の問題、医療保険制度の問題をはじめ多くの課題を解決しなければならない。

わが国の歯科医療が学問の進歩の成果を着実に社会に還元できてこそ、社会は歯科医師の社会的地位と経済的地位について適正な評価を認めることは間違いないと確言できる。

私たちは母校の学問的基盤による歯学の研修と、会員相互の緊密な連帯感による親睦をはかるとともに、母校の発展をたすけ、歯科界の進展に努めたいものであります。

平成元年度 第2回

役員会・分会長・支部長会・クラス幹事会

## 第35回 会員大会で 凧踊りなど淡路分会が企画

＝平成2年2月24日（土）＝



平成元年度第2回大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会・分会長・支部長会・クラス幹事会の合同会が2月24日（土）午後1時から兵衛会館5階ホールで開かれた。

合同会は志築専務の司会、伊藤副会長の開会のことばで始められ、中塚副会長を議長に選出して進められた。橋本卓次（芦屋）、永谷 敏（西脇）両氏を議事録署名人に指名したあと、村井会長はあいさつ（要旨）で「過般の衆院選挙では、先生方のご協力で1区から5区までの推せん議員全員が当選ということで、喜ばしいことである。

本日は、年1度のクラス幹事会を兼ねての合同会であるが、近年特に若い世代の同窓生からの活発な質問があり、それを同窓会本部に正し

解答を得ている。例えば校歌がODCかODUかの問いでは著作権もあってODCで統一すること、校名がODCかODUかの問いではODUであることなどである。今後とも問題点は本部同窓会または大学当局に解答を得て、納得できるように協議していきたい。

現在、兵衛会員数2,648人のうち大歯出身者1,409人で、大歯同窓生が占める割合は54%であり、順次減少の傾向にある。

全国で29校の歯大・歯学部から毎年3,000人超の卒業生が輩出されているが、歯科界の多様化も一般社会と同様であり、現在県下17校の同窓・校友会が組織されている。

いずれにしろ、依然として大歯出身者が兵衛執行のかなめとなり、大きな責任と期待を負っている。

3月3日に本部同窓会総会があり、会長・監事の選出などが協議される。また大歯天満学舎の老朽化に伴い、21世紀に向けて、現有地1,500坪を有効利用するため、キャンパス将来構想を計画中である。なお、母校は財政的には全国一の安定経営を誇っており、ご同慶にたえない」と述べた。

## 報 告

### 1) 会務報告 (志築専務)

会員数 1,409人 (平成元年11月末現在)  
 役員会 平成元年4月8日 (土)  
 合同会 平成元年7月11日 (火)  
 総 会 平成元年4月8日 (土)  
 第35回会員大会 平成元年8月5日 (土)  
 ホテルオークラ神戸で681人参加  
 県下各歯大同窓・校友会役員連絡協議会  
 平成元年12月16日 (土)

### 2) 会計報告 (三坂常任理事)

平成2年1月31日現在の収支現況 (別掲) を報告。

### 3) 本部報告 (志築専務)

1. 会員数 10,052名 (平成元年12月現在)  
 (平成元年入会者 157名  
 物故者 69名)

#### 2. 副会長委嘱について

12月1日付 山岡 昭教授 (専28) に副会長を委嘱された。(西浦副会長の後任)

#### 3. 同窓会館 (室) 調査検討委員会委員の委嘱について

去る、平成元年1月14日第4回理事会にて会長に一任された委員会委員は次の通り委嘱された。

#### 1. 役 員

- 1) 松 本 博 (副会長)
- 2) 新 田 孟 (専務理事)
- 3) 志 築 照 和 (常務理事)
- 4) 岡 邦 恭 (常務理事)
- 5) 田治米 保 夫 (常務理事)

#### 2. 支部会長

- 1) 森 宏 (三重県)
- 2) 村 井 俊 郎 (兵庫県)

### 3. クラス会代表者

- 1) 品 川 武 人 (専30)
- 2) 三 谷 卑 (大8)
- 3) 松 田 毅 (大13)

### 4. 支部会長、クラス会代表者交代 (4月以降)

	新	旧
山口県支部	大3 上野 泰義	専29 藤田 鉄一
関東支部	専29 山口 昭郎	専21 愛敬 弘成
長崎県支部	専28 長富 義次	専25 寺田 弘喜
新潟県支部	専21 大森 滋雄	専14 大竹 角正
専10クラス会	鈴木 治良	天野藤太郎
大2クラス会	河野 定夫	山口 良郎
大5クラス会	前田 孝俊	井上 一男
大6クラス会	谷口 信昭	大野 一郎
大7クラス会	藤本 宣文	西海 啓之
大37クラス会	嶋村 卓夫	(新 卒)

### 5. 叙勲・褒章

平成元年春

専10	京 郡 府	秋田 康夫	勲五等瑞宝章
〳15	奈 良 県	杉村 良雄	勲五等双光旭日章
〳15	広 島 県	黒瀬 武男	勲五等双光旭日章
〳16	大 阪 府	大崎 恭	勲五等瑞宝章
〳17	大 阪 府	河合庄治郎	勲三等旭日中綬章
〳18	和歌山県	橋本 勇	勲五等瑞宝章
〳20	岡 山 県	原 三正	勲五等瑞宝章
〳29	山 口 県	松本 英二	藍綬褒章
〳31	石 川 県	竹内 太郎	藍綬褒章

平成元年秋

専19	三 重 県	松生 貞夫	勲五等瑞宝章
〳20	兵 庫 県	岡田 一三	勲五等双光旭日章
〳25	徳 島 県	川島 新二	藍綬褒章
〳32	奈 良 県	岡下 良智	勲五等瑞宝章

## 学 内 報 告

### 1. 平成2年度大阪歯科大学入試要項

#### ◎入試要項

- 募集人員 128名
- 出願期日 平成2年1月9日～1月30日
- 試験日 平成2年2月4日・5日
- 試験科目 数学 (数学Ⅰ、代数・幾何、基礎解析)  
 理科 (物理、化学、生物) < 各科目とも理科Ⅰの範囲を含む

む>のうち2科目選択)

外国語(英語Ⅰ、英語Ⅱ、英語ⅡB)

。その他 小論文、面接

◎入試要項は配布中、送料共2,000円で下記入試係へご請求下さい。

◎入試要項請求・問い合わせ先

大阪歯科大学 教務学生課入試係

〒540 大阪市中央区大手前1丁目5-31

電話(06)943-6521

◎昭和62年度～平成元年度入試問題集(プリント)

ご入用の方は、上記の教務学生課・入試係へ郵送料(切手175円)を添えてご請求下さい。

## 2. 大学教員人事(抜粋・平成元年度分)

教務学生部長を命ずる 教授 小西 浩二

付属病院長を命ずる 教授 藤井 弁次

図書館長を命ずる 教授 榊 鉄也

進学課程主事を命ずる 教授 倉橋 浩一

大学院研究科科長を命ずる

教授 覚道 幸男

付属病院副病院長を命ずる

教授 古跡養之眞

教務学生部副部長を命ずる

教授 戸田 忠夫

(以上、平成元年4月1日付)

口腔診断学講座事務取扱(兼務)

教授 古跡養之眞

(平成元年8月8日付)

歯科補綴学第1講座事務取扱(兼務)

教授 井上 宏

(平成元年9月22日付)

(計報)

口腔診断学講座 高須 淳教授(専29)は7月25日福島区の関電病院にて呼吸不全のため逝去されました。

追って9月9日、大阪歯科大学講堂において大学葬がしめやかに執り行われました。

また、補綴学第1講座 西浦 恂教授(専28)は9月19日同じく福島区の関電病院で心不全のためお亡りになりました。

大学葬は11月10日、大学講堂においておごそかに執り行われました。

### 3. 大学80周年記念事業について

平成3年5月31日(金)予定

### 4. 第17回日本歯科医学会総会について

平成3年10月26日(土)～28日(月)予定

## 協 議

### 1) 第36回会員大会について

竹谷三省淡路分会長が会員40人程の少数であるが、本部の絶大な支援を得て、立派に成功させたいと説明した。

日程 平成2年8月11日(土)

ポートピアホテル偕楽・大輪田の間  
受付 14:00

セレモニー 15:00

アトラクション 16:00

懇親会 17:00

会費 10,000円(予定)

### 2) その他

会報について、支部・クラス代表者からの投稿をお願いしたい。

平成元年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出現況報告書

収入額 19,349,638円

支出額 15,111,403円

差引収支差額 4,238,235円

平成2年1月31日現在

(収入の部)

科 目	収入額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
<b>第一款 会 費</b>	<b>16,838,000</b>	<b>17,640,000</b>		<b>802,000</b>	月1,000円×12カ月×1,470名
第1項 会 費	16,838,000	17,640,000		802,000	
<b>第二款 雑 収 入</b>	<b>1,456,370</b>	<b>1,601,000</b>		<b>144,630</b>	
第1項 雑 入	5,370	30,000		24,630	預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,451,000	1,570,000		119,000	10,000円×1,470名×10% 本部より過年度分100名含む
<b>第三款 繰 越 金</b>	<b>1,055,268</b>	<b>1,000,000</b>	<b>55,268</b>		
第1項 繰 越 金	1,055,268	1,000,000	55,268		
<b>合 計</b>	<b>19,349,638</b>	<b>20,241,000</b>		<b>891,362</b>	

(支出の部)

科 目	支出額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
<b>第一款 事 務 費</b>	<b>4,976,705</b>	<b>5,400,000</b>		<b>423,295</b>	
第1項 事 務 費	2,010,000	2,000,000	10,000		
第2項 旅 費	889,540	1,200,000		310,460	
第3項 通信印刷費	1,887,675	1,800,000	87,675		
第4項 消耗品費	86,647	300,000		213,353	
第5項 雑 費	102,843	100,000	2,843		
<b>第二款 会 議 費</b>	<b>2,440,618</b>	<b>3,000,000</b>		<b>559,382</b>	
第1項 会 議 費	2,440,618	3,000,000		559,382	
<b>第三款 事 業 費</b>	<b>7,694,080</b>	<b>11,500,000</b>		<b>3,805,920</b>	
第1項 学 術 費	0	500,000		500,000	
第2項 広報宣伝費	626,050	1,000,000		373,950	
第3項 福祉厚生費	2,303,673	3,000,000		696,327	
第4項 会務連絡費	0	1,500,000		1,500,000	
第5項 表彰慶弔費	723,616	1,000,000		276,384	
第6項 諸見舞金	1,560,000	1,000,000	560,000		
第7項 渉 外 費	2,480,741	2,000,000	480,741		
第8項 時局対策積立金	0	1,500,000		1,500,000	
<b>第四款 予 備 費</b>	<b>0</b>	<b>341,000</b>		<b>341,000</b>	
第1項 予 備 費	0	341,000		341,000	
<b>合 計</b>	<b>15,111,403</b>	<b>20,241,000</b>		<b>5,129,597</b>	

現金 199,721 普通預金 1,898,514 定期預金 3,000,000 預かり 860,000 合計 4,238,235

# 顎関節症の診断と治療

—顎機能異常簡易診査票を中心に—

大阪歯科大学歯科補綴学第2講座

教授 川添 堯 彬 氏

平成2年2月24日(土)午後2時  
兵衛会館5階ホール



わかりやすく講演する川添教授

## はじめに

一般に顎関節症と呼ばれる疾患が日常の歯科臨床の中で増加しつつある。患者は最初から顎関節部、咀嚼筋、咬合、頭頸部などの異常を訴えて来院する場合のほか、通常の歯科治療の過程で発見される場合も少なくない。本疾患の臨床的特徴は、主訴を含む症状および病型の多様さと、原因および発症機序の複雑・広範性にあると考えられる。

実際に本疾患の患者に接してみると、概して診断が難しく、治療期間が長くなり、患者の扱いにくさに手を焼くことの多いのが特徴である。本疾患の原因因子の中で、特に歯科的因子としての咬合異常の関連が強いと考えられ、したがって歯科医が本疾患を治療しうるか、あるいは悪化させるかの鍵を握ることになるため、一般臨床家にとっていっそう看過できない問題となっている。

そこで今回、顎関節症を臨床で扱う場合には、十分な基礎的知識を備えた上で、多面的な広い範囲からの臨床的診査と適正な診断、そして安全な治療を行うことが重要であるとの認識から、特に咬合学および補綴学の立場における診断と治療の実際について解説してみたい。

## 1. 原因因子と臨床的分類

顎関節症の原因および発症機序についての考え方には従来から多くの変遷があり、現在なお以下の6つの流れに分かれている。①機械的偏位説、②筋肉説、③神経筋機構説④精神生理学説、⑤心理学説の特定因子強調説と、⑥多因子原因説があり、最近では、本疾患の病態が単一の原因や発症機序では説明できず、多くの因子の複合したものから起こっているとの見解が多くなっている。

また、本疾患の発症原因あるいはトリガー因子として、一般歯科治療の中に医原性となるものが、ずいぶん多く含まれていることに注意しなければならない。為害的な歯科的刺激には、不適正な修復・補綴物(処置)、抜歯、後方臼歯の歯科治療時などの際の過剰開口、急激な矯正治療時の負荷、患者に過度な精神的緊張を与えるカウンセリングや術者の乱暴な言動などがある。

## 2. 臨床病態の現れ方

患者の訴え、あるいは自覚は多種多様であり、顎関節部・周囲の疼痛、顎関節雑音、開口障害を主症状とし、ほかにさまざまな副症状を訴える場合が多い。疼痛のほとんどは筋症状であり、圧痛、運動時痛、自発痛などが現れる。



顎関節雑音にはクリック音、捻髪音などがあり、関節円板と下顎頭の運動時のずれが直接関連する。顎運動の異常は運動経路が偏位したり開口障害となって現れる。咬合異常との関連はとくに密接で、早期接触や咬頭干渉、下顎位・咬合位の偏位、歯列不正、臼歯部欠損などが顎関節機構や咀嚼筋活動に影響を及ぼす。また、精神的ストレス、習慣的身体姿勢・動作、異常機能（ブラキシズム）なども関連する。

### 3. 咬合異常との関連性

本疾患の原因因子と考えられる咬合異常には、次のようなものがある。

- 1) 咬合高径の低下
- 2) 後方臼歯欠損
- 3) 咬頭嵌合位（または中心咬合位）の異常
- 4) 顎頭位の異常
- 5) 下顎偏位
- 6) 咬合干渉（咬合接触 および ガイド の異常）
- 7) ブラキシズムによるファセット
- 8) 安静空隙量
- 9) 歯列不正
- 10) 不適正な補綴物

### 4. 臨床的診査法と一次診断

多様な症状および原因を有する本疾患患者の診査に際して、できるだけ幅広く多面的に、しかも能率的に多くの診査データを集める必要がある。それには顎口腔系の一部のみの情報に偏って深く診査することは適当ではない。むしろ同種の診査事項は最少限のものにとどめ、簡素化し、より広い範囲から集めることが重要である。その意味から、まず一次診断に必要な臨床的診査を行うために8系統、33項目に簡素化した診査票（チャート）を用いる。これにより後の治療方針につながる臨床病型（一次診断名）が浮き彫りになる。

### 5. オクルーザル・スプリントと二次診断

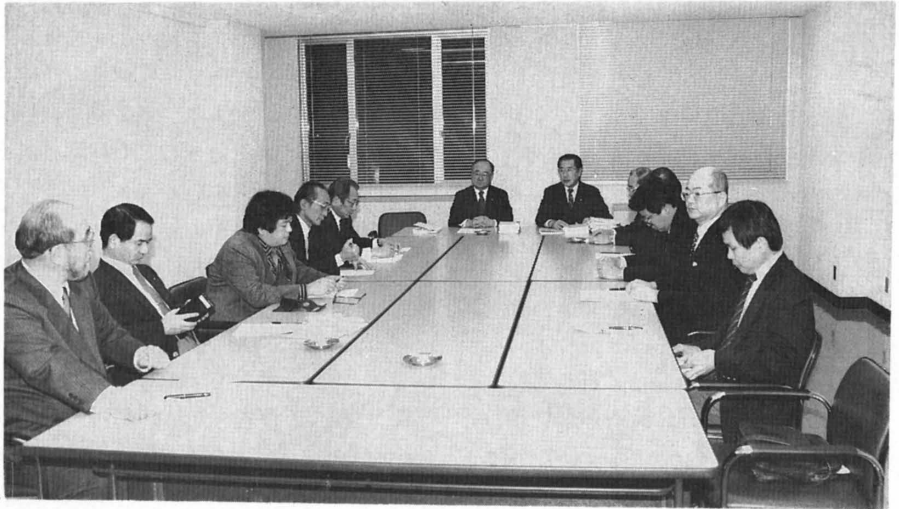
オクルーザル・スプリント（バイトプレート）は種々の目的で使用されるが、大別して2つの役割がある。その1つは可逆的装置として二次診断に用いるものであり、残りは症状を改善したり、下顎偏位や顎頭偏位を修正（リポジショニング）するための治療装置としての用途である。しかしオクルーザル・スプリントの最も重要な意義は可逆性であり可撤性であることであり、最初から直接的、不可逆的な咬合治療を行うことの危険を防止できることである。オクルーザル・スプリントの形態もさまざまであるが、最も安全で目的・効果の明確なものは上顎または下顎の全歯列被覆型のオクルーザル・スプリントである。これはさらに作用別に、スタビリゼーション・スプリントとリポジショニング・スプリントに分けられる。これらはいずれも二次診断用として、一次診断の臨床病型を鑑別・確認する目的によく用いられる。

### 6. スプリント療法後の咬合・補綴治療

可逆的装置により二次診断が得られ、大部分の症状や機能の改善が図られた場合、多くは咬合・補綴の治療へ移ることになる。ところがこの場合、どの時期にスプリント療法を終えるべきか、どのように咬合・補綴治療を行うかが問題となる。通常、スプリント装着状態とまったく同一の咬合関係を与えて咬合修復することは、咬合高径や前歯被蓋関係を著しく改変してしまうために補綴学的に不都合なことが多く、適正な処置であるとは限らない。そこで、スプリント装着状態の咬合位、顎関係を基準として、顎頭位や咬合関係（歯列、咬合平面、顎間関係など）を診断・分析し、最小限の改変ですむ補綴学的治療方針を決定する。そしてテンポラリー修復物を装着し一定期間観察したのち、最終補綴処置を行う。以上

# 座談会

## 情報伝達こそ同窓会の絆



- 出席者 村井会長 志築専務理事
- 広報委員会：中森 康二 川村 幸雄 木許 隆道  
橋本 卓次 北 英一 水田 吉彦◎  
豊川 輝久
- 名簿編集委員会：前田 孝俊 一瀬 健二 石田稜威夫  
松村 久衛 矢富 義昭 西山 彰 (◎は兼任者)

会報のスタイルを新しくしてから、はや3号を数える。また、この度は名簿も版を大きくして一新した。これを機会に、それぞれの担当の方々にお集り願って、ご苦労された話や、同窓の先生方へのお願いなど、いろいろとお伺いをした。

村井 年末の忙しい時にお集り願ひ、感謝しております。同窓会の機関誌の発行でお世話になっているわけですが、お蔭で会員の方も同窓会の活動がよくおわかりのことと思います。名簿の方も大変重要な仕事で、電話番号が1字違っても、役に立たないわけで、もちろん名前を間違えると失礼になるし、非常に骨の折れる仕事だと思ひます。この度も立派な名簿を出していた

だいて、感謝しています。今回、名簿も版が大きくなって、非常に見やすくなりました。そこで、今日はそれぞれの苦労話などお話し願ひたいと思ひます。

今の世の中は情報化時代で、とくに正しい情報を正しく伝達することが、組織を強化することに連なっていくと思ひます。

## 強化された同窓会組織

**志築** 従来の縦の連絡だけでなしに、クラス幹事会が出来て横の連絡も出来ました。これに広報の斜の糸をめぐらして、組織の強化をした。うれしいことに、会合の出席率が非常に良く、喜んでいきます。役員会にしても、出席率80%になるし、会員大会にも800人も集まっていた。55%の出席率ということで、うれしい限りです。全国第2位の会員のいる兵庫県ですが、心強いかぎりです。

村井会長の日歯副会長としての仕事を、物心両面から支援するというのも、大歯同窓会ならではだと思います。

今後入会、保険、医事処理なども含め、広く後輩と心のつながりの場を広げて行きたいと思います。

**中森** 会報と名簿ということで、すこし立場が違いますが、まず会報の方からお話ししたいと思います。

会報の方は、昭和24年以降、ずっと新聞形式のような形でやってきたわけですが、同窓の絆を深めるという意味で雑誌形式にして、投稿のスペースを広げたわけですが、その辺りからお願いします。

**豊川** 同窓会の会報の編集で、一番苦労するのは、記事が少ないということで、雑誌形式になったのも、後からできた、他校の同窓会の会報が大へん立派になってきたということもあって、予算ができたということだろうと思います。が、現在まだ3号がでたばかりですので、これからだろうと思います。

**橋本** 同窓会の雑誌ということで、気楽にやっているわけで、あまり苦労話はありません。表紙はいろいろ考えたのですが、毎回変えるということも大変ですので、プロのデザイナーにお世話になって、描いていただきました。春は新緑でグリーン、夏はブルー、秋は紅葉で赤のつもりでしたが、すこし薄かったように思います。

内容の方は、会議の記事は無味乾燥のようですが、これも記録としての重要性もあるので、

大切にしなければと思います。投稿の頁は、最初どれだけいただけるか、不安だったのですが、よく利用していただき、とくにクラス幹事の方々には大へん協力していただき、感謝しております。

## 独自のカラー、企画物も

**川村** 同窓会本部の会則が変わり、会報に医政に関する項が入るようになりましたので、支部の会報との兼ねあいというものが変わってくると思います。もちろん、兵庫県独自のカラーというものも必要だと思います。

**木許** 写真の取材は、大きな会になるとやはり2人位は必要だと思います。私もフィルムの感度を間違えて、冷や汗をかいたこともあります。

それから校正ということになりますが、拡大コピーが簡単にできるので、これらを利用するとかかなり楽になります。

**北** 投稿原稿の場合、校正の時に投稿された方にゲラをファックスで送ってほしいという要望も聞きますね。

**石田** 会報の場合、編集の方はベテランの方がやっておられるわけで、問題ないわけですが、どこに焦点を合せて編集するか、ということも大切だと思います。

**豊川** 従来からの記事は、きっちりやっていくのと同時に、頁数に余裕があるので、本部への要望や子弟の入学問題など、企画ものを考える必要があるでしょうね。

## 大判にして見易く

**中森** 名簿の版が大きくなりましたが、その理由などのあたりから、担当された方にお伺いします。

**前田** 会員が増加して、従来の形では分厚くなるということと、県の歯科医師会の名簿が非常に見易いということで、版を大きくすれば、頁数が減って費用も安く済むということで踏み切ったわけです。



まあ、出来上がってみると、頁数がそう減ったようには見えませんが、これは新しく追加したものもあるからで、見易くなったのは確かでしょうね。

**水田** 名簿ということになると、校正がとくに大切ですね。これは、誤りがあっては大変ですので、十分気をつけてやっているわけですが、長くやっておりますと、コツがわかってくるんですが、やはり、老眼鏡なんかかけてやりますと、数字の校正などは大変です。電話番号など見ますと、数字がダブって見えますので、休み休みしながらやっている状態です。

**中森** 誤植は、一般の出版物の中にも、よくありますね。広報の場合は、あれば訂正しておくという程度で、あまり気にしていると、なにも出せないという面もありますが、名簿の方は、はい、間違いましたというわけにはいかないでしょうね。

**前田** 名簿はゲラが出来た段階で、支部長に送って校正してもらおうということですが、まあ、人間のすることですからね。支部に正確な名簿があれば、訂正も容易にもらえるわけですが、巻末につけた葉書きを利用していただいたり、ご本人に確認の電話をしたりすることもあります。

住所が、名簿印刷直前に変わったりして苦労するわけですが、委員の中に早耳の方がいて、情報が早く入ったりして助かることもあります。

卒業して2～3年間は住所の変更がよくあるので、名簿を作る側からいうと大へん困るわけです。もちろん開業してしまうと、落ち着くわけですが。

**一瀬** 住所変更には苦勞しますが、会員に新しい情報を提供するのの仕事だと思ってやっております。支部長には、校正によろしくご協力いただきたいと思います。

**松村** 名簿の方も整備されてきて、事務局の方もかなりの部分をやってくれますし、あまり大きく手を加えないで済むようになってきました。

本部と支部とですこし違うのも問題ですね。

**志築** お気付きになったかどうか、分かりませんが、県下の病院の口腔外科で、大歯の卒業生のおられるところを掲載しておきました。私が医事処理をしている関係で、病院にお世話になる時に、ご利用いただければ結構かと思えます。

**中森** 会報としては、同窓会の絆を深くする意味で、支部なりクラス会の活動を盛んにやっていただいて、その報告を記事にして出していただきたいと思います。

名簿の方は今回は発行されたわけですが、変更など、後の仕事も残りますので、これで終わったということではなく、こん後もよろしく願いをいたしまして、本日の座談会はこれで終わらせていただきます。ありがとうございました。

— 予 告 —

## 大阪歯科大学兵庫県同窓会第36回会員大会

日 時 平成2年8月11日(土) 午後2時 受付  
午後3時 会員大会  
午後5時 懇親会

場 所 ポートピアホテル

参加会費 10,000円予定

新入、新卒会員歓迎も合わせて盛大に催したいと存じますので、ご家族ともども多数ご参加下さるようお願い申し上げます。申込書は後日事務局より郵送いたします。

— 予 告 —

## 総会開催について

標記会合を、下記のとおり開催いたしますので是非ご出席下さいますよう、ご通知申しあげます。

記

日 時 平成2年4月7日(土) 午後4時  
場 所 兵庫県歯科医師会館 5階ホール  
議 題 1) 平成元年度収入支出決算  
2) 平成2年度事業計画及び平成2年度収入支出予算  
3) 会費の額及び徴収方法

総会終了後『神仙閣』において懇親会を開催いたしますので申し添えます。

大阪歯科大学兵庫県同窓会 会員名簿正誤表

須磨区	清水 栄一	診療所電話番号	
	正	078-732-3461	
	誤	078-732-3491	
須磨区	清水 孝治		
	正	須磨区大黒町3-4-13	078-732-3461
	誤	(須磨区潮見台町1-3-7-302)	(078-731-6531)
	正	須磨区大手町3-1-13)	078-731-3461
	誤		(078-731-9716)
姫路市	西川 滋弘	電話番号	
	正	0792-46-0002	
	誤	0792-45-0002	
尼崎市	福島 重紀	自宅住所	
	正	(大阪市中央区谷町1-3-9)	
	誤	(大阪市中央区谷町1-39)	
姫路市	吉本 正直	自宅住所	
	正	(姫路市北八代1-9-24)	(0792-88-9027)
	誤	(姫路市北八代1-336)	(0792-88-8949)
中央区	藤川 雅也	自宅住所	
	新	(灘区篠原本町3-8-6)	(078-801-5459)
	旧	(東灘区御影町西平野字平野3-24)	(078-811-2035)
西宮市	山本 規子		
	新	西宮市高座町14-46-607	0798-72-0543
	旧	西宮市甲子園砂田町5-21	0798-41-1601
播磨	岸野 常朝	自宅住所	
	新	(加古川市野口町坂井139-3)	(0794-27-0097)
姫路市	橋詰 茂正	自宅住所	
	新	(姫路市岩端町164-2)	(0792-96-4464)
<b>名簿追加</b>			
中央区	河村 昌尚		
	診	中央区八幡通4-2-3 南光ビル3F 磯島歯科	078-251-5800
	自	(芦屋市浜風町19-9)	(0797-23-1992)
<b>変更</b>			
尼崎市	福田 二郎		
	新	尼崎市大庄西町1-15-1	06-413-8788
	誤	(〃 〃 〃)	(06-413-9322)
	旧	尼崎市大庄西町1-5-6	06-416-2844
	誤	(〃 大庄西町1-15-1)	(06-418-2596)

※切り取って名簿にお貼り下さい。

平成2年3月30日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話(078)351-4181

編集発行人

志 築 照 和